



代表質問するささい茂智（県議会本会議場）

2014 年度当初予算案など 92 議案を可決 2 月定例県議会 公共施設の老朽化対策を求める 総合管理計画を策定 知事答弁

2月25日に始まった2月定例県議会が3月20日に閉会し、6602億3400万円の2014年度一般会計当初予算案など執行部提案86件、県議会の選挙区と定数を見直す条例案など議員発議6件の計92議案を可決しました。

私は2月28日の代表質問に登壇し、財政問題や公共施設の老朽化対策など15項目を質問。今後多額の費用が見込まれる公共施設の老朽化対策について知事は、「費用の全体像を把握し、縮減に取り組みたい」、「公共施設等総合管理計画の策定に取り組む」と答弁しました。

主な質問と答弁

1. 財政状況の認識等

県は平成26年度から10年間の収支が118億円のプラスになるとの収支見通しを発表したが、赤字地方債である退職手当債の発行額を30億円まで段階的に抑制した場合、10年間で373億円のマイナスとなる。財政再建は道半ばであり、決して予断を許さない状況にあるが、認識と今後の対応方針を伺いたい。

→ 今回の収支見通しは、景気回復による税収増などからプラス基調になっているものの、多額の退職手当債を発行するなど財政は依然として予断を許さない。なお、一層の事業の選択と集中を図り、不断の改革・改善に取り組む。(知事)

2. 市町村との連携

(1) 県の姿勢等

県と市町村の連携に関して、県はどういった姿勢で市町村に対応するのか。

→ 県と市町村は、対等・協力の関係にあるパートナーであり、連携が必要な施策については、より丁寧な合意形成を図らなければならない。市町村長とは平素から情報や意見の交換を行い、忌憚なく話し合い協力していける関係の構築に努めたい。(知事)

(2) 岡山市との協議等

イオンの2000万人の集客をどう活性化や観光に活かすのか。また、公営住宅の一元化や機能の調整を具体的に協議・検討する場の設置が必要と考えるが、どうか。

→ 県都の魅力や拠点性が高ま

り、賑わいが創出されることは、県全体の発展にとっても重要。知事と市長との懇談会や連絡会議を開催しているが、現在「指定都市都道府県調整会議」の設置が検討されており、さらなる相乗効果の発揮や効率的な行政執行にむけた連携強化に努めたい。(知事)

3. 就学前の幼児の教育等

県内の3歳児の約3割は幼稚園にも保育所にも通っていない。幼稚園や保育所に入りやすい環境を作ることとは発達障害の早期発見・早期支援や教育にとって大切。3歳児がこれらの施設に入りやすい環境づくりに取り組むべきだが、所見は。

→ 早期からの教育や保育は大変重要と認識している。ご提案の保育所等に入りやすい環境づくりは、市町村と連携しながら教育や保育環境の充実を図りたい。(知事)

→ 県教委では各市町村教委に3年保育を働きかけているが、就園率は低い。3年保育の一層の拡充を働きかけるとともに、3歳児の発達と障害特性への理解を図る教育研修を充実したい。(教育長)

4. 企業誘致等

(1) 撤退した企業の実態等

企業の撤退を防ぐことにどう対応してきたのか。

→ 最近 5 年間で把握できるところで 5 社が県外に撤退している。再投資を支援することが重要で、今回の制度新設・拡充で県内への製造拠点の集約化、マザー工場化が進むことを期待している。(知事)

(2) 見通し等

平成 28 年度までに 90 件の企業立地を目標としているが、見通しと決意を伺いたい。

→ 本県の災害リスクの少なさや交通拠点性の高さなどが評価され、手ごたえを感じている。補助制度の新設・拡充、規制緩和を進め、目標達成に向けて渾身の力で取り組みたい。(知事)

5. 観光振興

(1) 瀬戸大橋を利用した観光振興

今年は瀬戸内海国立公園指定 80 周年であり、橋上ウォーキングなど超一級の観光資源である瀬戸大橋を活用した観光振興ができないか。

→ 記念事業として、鷲羽山でのウォーキングイベントや瀬戸大橋スカイツアー、瀬戸内海クルーズなど瀬戸大橋を活用した観光振興に努めたい。なお、橋上ウォーキングは全面通行止めによる経済活動への影響などから実施は難しい。(知事)

(2) ミシュランガイドの活用

後樂園がミシュランガイドで三

ツ星を獲得しているが、この情報が活用されていない。後樂園を基点に県内観光地への誘客につなげる施策を進めるべきではないか。

→ ミシュランガイドは外国人観光客が旅行先を決める際の有力な情報源であり、今後も後樂園のブランド力を活用し、岡山城とも連携した魅力発信や県内観光情報の提供に一層取り組みたい。(知事)

6. 農林水産行政等

(1) 米粉麺の学校給食への導入

岡山県立大学等で米粉麺が開発されているが、コメの消費拡大に加え、小麦アレルギーへの対応という観点から学校給食への導入ができないか。

→ 食物アレルギーを有する児童生徒は全国的に増加傾向にあり、各学校では除去食の提供や弁当持参等個別の対応をしている。米粉麺については、安全性や低価格、安定供給の確保といった課題もあるが、小麦アレルギーを有する児童生徒も安心して食べられるなどの効果もあり、研究したい。(教育長)

7. 教育問題

(1) 頑張る学校応援事業

頑張る学校応援事業で、学力向上等をどう判断するのか。選考の考え方、組織について伺いたい。

→ 学力学習状況調査や問題行動等調査から見える数値的改善のほか、学校の課題を的確にとらえ創意工夫されたものか、地域と一体と

なった取り組みとなっているかなどを評価したい。また、組織は外部人材にも協力いただくことを想定し検討している。(教育長)

来年度予算で要望書を提出 一党岡山県議団一

公明党岡山県議団(景山貢明団長)は2月10日、県庁で伊原木隆太知事と会い、2014年度の予算編成に関する要望書を手渡しました【写真】。

席上、景山団長は「めりはりのある予算編成が県民的課題として望まれる」と強調。その上で(1)玉島ハーバーアイランドへの休憩所、トイレ設置などのインフラ整備(2)小児救急医療電話相談(#8000)の時間延長などの拡充(3)私立の専門・専修学校への支援(4)ジビエ料理や革製品による地域活性化の推進(5)企業誘致の受け皿となる土地の開発(6)小・中学校の35人以下の学級の推進——など、187項目の実施を求めました。

伊原木知事は、前向きに取り組む姿勢を示しました。



ささい茂智 “プロフィール”

昭和 38 年 10 月 13 日 総社市生まれ (50 歳)

【学歴】昭和 57 年岡山県立総社高等学校、昭和 61 年創価大学経済学部卒

【職歴】昭和 61 年岡山県農業協同組合中央会、平成 16 年参議院議員谷合正明公設秘書、平成 23 年岡山県議会議員初当選(岡山市中区選挙区)

【議会】総務委員会副委員長、地域振興等特別委員会委員